会員と千葉県連盟をつなぐ

ちばニュース

2025年 7月号

千葉県勤労者山岳連盟

Chiba Workers Alpine Federation

２０２５年 ７月 １日発行　通巻３８６号

ゲリラ豪雨に細心の注意を…
余裕を持った計画は
気持に余裕を与えます！

7月号 目次

ページ

０２…目次・投稿フォーム書式案内・表紙写真説明
０３…6 月理事会報告
０７…山行報告 1：倉岳山（市川山の会）
０８…山行報告 2：御嶽山／奥多摩（市川山の会）
１０…山行報告 3：韓国／雪岳山（船橋勤労者山の会）
１４…山行報告 4：会創立 30 周年記念山行：佐渡（かがりび山の会）
１８…山行報告 5：茶臼岳＆三斗小屋温泉／那須（茂原道標山の会）
２０…山行報告 6：龍王峡（東葛山の会）
２３…行事報告 1：古賀志山登山講習（教育遭難対策委員会）
２５…行事案内 1：会報担当者オンライン交流集会（機関紙委員会）
２６…行事案内 2：海外登山（韓国：道峰山・水落山・仏岩山）（海外委員会）
２７…行事案内 3：2025 オンライン講習会（第 3 回予告）
２８…行事案内 4：第 18 回ふれあいハイク
２９…全国連盟からの案内：労山会員証発行に伴う会員情報確認依頼＆報告
３０…予定表（7 月・8 月）

p.6、19、22 ＜閑話休題＞ 各委員会 Zoom ID、詐欺電話、ヘボン式ローマ字表記

個人情報があるので取り扱いには注意して下さい。

『**山行報告**』や『**行事報告**』などの投稿をお待ちしています！

その際の『書式』は、可能な限り次の通りでお願いします。

ワード、A4 縦、横書き、MS 明朝、12 ポイント、余白：上下左右各 25mm

写真などを挿入しても、別にお送りいただいても結構です。

『**表紙用写真**』も募集しています！（写真説明を添えてください）

毎月 **20 日頃**を目処にメールでお送り願います。

＜送付先＞機関誌委員会：安彦秀夫 mt25hm4abichan49@gmail.com

＜表紙写真説明＞

『茂原道標山の会』の面々が、ランプの宿『三斗小屋温泉：大黒屋』に泊り、那須の山巡りをした際の『茶臼岳』山頂での 1 枚です。詳細は、p.18 の報告を…。（編集子）

2025 年 6 月 19 日（木）千葉県連理事会議事録

日　時　　2025 年 6 月 19 日（木）19:00～21:00　ZOOM オンライン会議
参加者　　理事：12 名、　役員（会計・各委員長含む）：6 名、　全国連理事：なし
ふれあいハイク担当：1 名
司会：永尾理事（ちば山の会）、　書記：小島理事（こまくさ）

打合せ議題

１．理事長挨拶（野田）

梅雨に入ったと思ったら猛暑になりました。気温の変化の激しいこの頃、皆様健康に気を付けてお過ごしください。新規に理事会に参加される理事の方々、よろしくお願いします。

今月の司会は永尾理事（ちば山）にお願いしております。今後状況をみて各理事に順にお願いする予定です。よろしくお願いします。

２．役員会報告（野田）

6 月役員会　12 日 19:00～21:30　オンライン開催

1）ふれあいハイク実施計画について
2）理事会の業務効率化、旅費規程確認
3）県連規定の見直し協議（継続テーマ）
4）組織拡大、今後の県連活動について協議（継続テーマ）

『役員会』は、毎月、『理事会』開催の 1 週間前に Zoom で開催しています。

３．全国連理事からの連絡・情報提供等

石川 副理事長、山本 理事　（欠席）

４．各委員会報告

1）教育遭難対策委員会（伊東）

① 5 月～10 月クライミング講習（入門編）
第 1 回目：5/24 実施
第 2 回目：6/21 予定　8 名

② 6 月 1 日（日）登山講習
場所：古賀志山　　6 会 14 名参加で実施
実施報告をちばニュース 7 月号に掲載予定
原稿 6/24(火)提出予定。岩の入門コース、午前は雨だったが持ち直した。

各『委員会』の活動を活性化するためにも、そして、新しい風を吹き込むためにも、各会からの委員を募集しています。
委員になり、他の委員との交流を図ると共に、県連活動に参画してみませんか？
いつでもお待ちしています。

2）自然保護委員会（菅井）

温暖化の影響で夏山がどうなっているか？様子が変わってきているので気づきがあれば報告する。山にゴミなくなったが引続きゴミ拾いはお願いする。

3）ハイキング委員会（田中）　（欠席）

報告なし

4）組織委員会（野田）

・今年の活動準備中

5）女性委員会（広木）

石田先生著書「一生、筋トレ」　代金の支払い　7月理事会でも可

通常価格 1,650 円　会員価格 1,500 円（送料込）

購入希望者は、広木まで連絡を。

女性委員　参加お願いします。

・高橋理事よりコメント；

書籍の内容がとてもよい。講演会をしてもらいたい。

女性委員会の存続の意味があるのでは…と考えている。

手伝いたい人がいれば、是非参加してほしい。

・委員の人数がそろわないので各会員から引続き選出のお願いと可能な所は１会員から複数の選出もよい。

6）海外委員会（安彦）

① 海外登山：韓国/ソウル 5 大名山（道峰山（とぼんさん）、水落山（すらくさん）、仏岩山（ぷらむさん））　10/17-21

参加者募集案内を『2025 ちばニュース 6 月号』にも掲載し、『参加申込書』を各会代表者、県連理事・役員に配信→申込者：13 名（6/19 時点）。15 名以上で実施したい。（15 名未満の場合、料金が予定より高くなる場合あり）

一次集約：6 月 25 日（水）、二次集約（最終締日）：7 月 17 日（木）

→ 随時航空券手配予定（既に参加申込み者 13 名は、仮予約済みです。）

② 全国連盟海外委員会（6/10/Tue：Zoom）参加

10 月の『（仮）海外山行オンライン交流集会』の開催に向けて準備中

③ 海外山行計画書を必ず全国連盟海外委員会に提出して下さい。

併せて、CC で千葉県連海外委員会に提出して下さい。（メールでお願いします）

*計画書の書式は、特に定めていませんので、各会の書式でお願いします。

*提出者は、山行参加者、会代表者、山行管理者など何方でも構いません。

7）機関紙委員会（安彦）

①『ちばニュース』に関するアンケート調査回答結果を委員会（5/22）で確認し、各設問に委員会として付記するコメントを検討中です。

→『ちばニュース』に関するアンケート結果について、グラフ・図を使い、概要説明を行った。

②『会報担当者交流集会（7/24：Zoom）』開催に向けて準備中で、開催案内を『ちばニュース 7 月号』に掲載予定です。担当者以外の方の参加も大歓迎です。

③『ちばニュース』への投稿依頼

*表紙用写真、山行報告、行事報告、気に入った山道具・山小屋などの投稿を引き続き継続募集中。毎月 20 日を目処に投稿をお願いします。

５．役員会より（野田）

1）会代表、理事名簿更新しました。名簿 2-1（添付資料）◆
　確認お願いします。　変更：松戸山の会代表　二宮敬幸（タカユキ）氏

2）委員会名簿更新しました。名簿 1-2（添付資料）◆
　確認お願いします。各理事はどこかの委員会に所属するようにしてください。
　土井理事（山翠会）参加委員会を決めて連絡お願いします。

3）旅費規程、会計処理に関する提案　理事会-2（添付資料）◆
　4 月、5 月理事会の打合せ内容を整理しました。今後この内容で運用します。
・ボランティア活動については適正な運用ができるよう注意が必要。

4）JWAF journal、登山時報　送り先変更して全国連に連絡済み。

5）安全登山ハンドブック　全国連に注文済み。570 部　野田宅に届きました。
　近々各会に配布（多数注文の会）、または 7 月理事会時に配布します。

6）群馬県連より「7/6（日）谷川岳山開き、クリーンハイク案内」が届いています。
　都合が付けば参加してはいかがでしょう。（添付資料）◆

7）理事会の業務改善提案について（添付資料）◆
　協議お願いします。
・理事会（3 回/年）開催場所について適当な場所があれば提案ください。
・船橋勤労者山の会より「例会の場所変更」の連絡がありました。

8）都連盟より 60 周年記念講演会の案内が届いています。各会に展開済み。

６．全国連からの情報展開（野田）

1）第 5 回全国救助技術交流集会（5/9 メール展開済）
　7/5～6　神戸市立神戸セミナーハウス
　教遭委員　白崎さん（岳人あびこ）　県連代表として参加
　必要経費（旅費含む）県連より補助します。

７．第 18 回ふれあいハイク参加者募集（五木田）添付資料◆

1）日時・場所：　2025 年 10 月 26 日（日）　君津市三舟山

2）身障者サポートの方法（参考資料）添付資料◆

・添付資料の説明あり。『ちばニュース』７月号に募集案内掲載
　（参加申込書も同時に配信）。

８．オンライン講習会（伊東）

第 2 回：6/26（木）ヘリ救助要請する場合の注意点
　講師：横山一隆さん（ちば山の会）
　参加申込受付中　締切：6 月 19 日（木）
　→申込 13 名(6/19 時点)追加募集。6/24(火)URL＆資料を配信予定
　当日、講師不在のため、事前に録画したビデオにて講習予定。

第３回： 9/25（木）登山計画届システム「コンパス」の紹介
講師：インフカム株式会社
第４回： 11/27（木）クライミングの安全対策
講師：石川　昌さん（全国連副理事長・遭難対策部長）

９．各会理事からの活動状況報告

現状報告、県連活動に展開できそうな事項、困っていることなど、自由に発表お願いします。今月の担当：**ふわく HC（欠席）、かがりび山の会**

・**かがりび山の会**（大橋理事より）

30 周年記念として佐渡島山行の実施。海外登山を検討中。標高が高い山から30 座選び各会員が３年間でどこかの山に登りましょう…と呼びかけ。
月２回の会山行を企画し参加者を募ってる。技術向上は毎月の月例会で講習会を実施中。

10．その他

1）７月理事会： 17 日（木）船橋市西部公民館集会室４　19～21 時（対面です！）
2）自由発言
- 7/12(土)15 時から県連事務所の使用予定あり（山の会「岳樺クラブ」）
- 「安全ハンドブック」 こまくさ小島さん宛て送付済み
- 各委員会での県連契約の Zoom 利用
  *ハイキング委員で利用したい（大橋理事）
  教育遭難委員会で使用して様子をみる。→ハイキング委員でも利用
  *組織委員でも使用したい（野田理事長）。
- 「労山基金担当者マニュアル」　全国連 HP に掲載あり。県連に全国連から講師を呼ぶこともできるので検討してほしい（安彦さんより）

3）事前に当案内一読願います。

以上

各委員会専用の Zoom ミーティング ID（URL）設定

千葉県連で有料契約をしている Zoom を、『役員会』や『理事会』、『オンライン講習会』などで利用しています。各委員会でも繰り返し使用できる ID（URL）を設定することができるようになりました。

６月末時点で、次の各委員会用の URL を設定し、既に各委員会のホスト役にメール配信しました。この ID（URL）では『40 分』という制限がなくなります。

① **教育遭難対策委員会**、　② **ハイキング委員会**、　③ **組織委員会**

また、④ **海外委員会**、⑤ **機関紙委員会** は、これまでと同様な ID（URL）を配信します。他の委員会やプロジェクトでも希望があれば設定します。（編集子）

春のトレーニング山行『山梨県：倉岳山（標高 990m)』

市川山の会　成平正子

5 月 11 日（日)。晴れ時々曇り。

JR 高尾駅の 3 番線ホームの 1 号車前に 8 時までに集合し、日程表や地図をもらって甲府行の電車に乗り込んだ。初めての参加者の W さんを確認できないまま 8 時 9 分に出発。参加者は男性 5 名、女性 12 名の 17 名。8 時 35 分に梁川駅に到着。背の高い若見えの男性も一緒に降りた。その人が W さんだった。会えて良かった。
簡単な自己紹介の後・準備体操をし、班ごとに並び、9 時 2 分登山道へと歩き始めた。

登山道入り口に着いたのが 9 時 21 分。月屋根沢と並行して登山道があるので、せせらぎの音や鳥の鳴き声を聞きながら、新緑を見ながら歩くのはとても心地よく気にいった参加者が多かった。M さんが用意してくれた資料を見なから、トチの巨木を探したり、写真に撮ったりしながら立野峠をめざした。
立野峠に着いたのが 11 時 28 分。膝が痛くなった人やつらそうな表情の人を見たリーダーの M さんが、予定変更して立野峠で 12 時 10 分まで昼食と提案した。みんな大賛成で思い思いの場所で昼食。

エネルギーを補充し、元気に急坂を登って倉岳山に到着したのが 12 時 44 分。富士山は見えなかったが、みんな笑顔だった。

下山は沢の渡渉や急な斜面のトラバースもあったが、先頭の M さんからの注意が伝達され、スムーズに歩き、転ぶ人もいず、ほぼ予定通に鳥沢駅に 15 時 40 分に到着した。
鳥沢駅から東京行、高尾行があるためこの駅で解散し、帰りやすい方法で帰宅した。
有意義な山行だった。

春の特別企画山行記『御嶽山』

市川山の会　河野佳津子

春の特別企画電車山行。当初予定されていた雲取山は、雨の予報もあり中止に。このまま特別企画が無くなってしまうのかと少し残念に思っていたところに、「スロー組といっしょに御岳山に行きますよ。」と連絡があり嬉しい気持ちを取り戻した。

西船橋 6:55 発の電車に乗り、お茶の水でホリデー快速奥多摩 3 号青梅行に乗り換え、青梅駅で 8:46 発のホリデー快速奥多摩 83 号奥多摩行に乗り、御嶽駅に 9:02 無事到着。電車の中では、それぞれの号車に乗っていたため、ここで初めて今回の参加者 17 名全員と顔を合わせる。

1 日目は、一般組が健脚組と一般組 2 つに分かれ、3 つのコースで歩くことになった。一般組とスロー組は、御嶽駅から出発。健脚組は御岳インフォメーションで手に入れた地図をもとに、軍畑駅から出発する築瀬尾根ハイキングコースで登ることを決めた。

先ずは、御嶽駅から上り電車に乗り軍畑駅へ。9:30 駅を降りると、予報通り小雨が降り続いている。さほど強くはないが、カッパをきて歩く準備をする。

地図片手に一般道をハイキングコース入口から 20 分ほど歩くと、「ハイキングコース梅野木峠・日の出山・御岳山」という表示を見つける。脇道に入ると林業で使うのであろう舗装された緩やかな登り道。途中ピンクのかわいらしいハンショウヅルの花にも出会うが、わりと長く続く。

10:40 やっと「築瀬尾根経由・日の出山・御岳山」の表示が現れ、いよいよ山道に入る。山道は杉林の中で険しくもなく登りやすいが、小雨がずっと降り続く。30 分ほど歩き続けると次第に雨が強まってきた。杉林もぬけて木々が片方なくなり尾根に出たと思われるが、景色はもちろん見えず。さらに雨が体に降り注ぐのを感じる。

11:50 高峰山山頂へ。周りの木が切ってあるので山頂とわかる程度の狭いところ。ここで少し休憩をしたいが腰も下ろすことも、荷物を下ろすこともできない。甘いものを口に入れて、日の出山まであと三分の一頑張ろう。

雨はやまず降り続け、次第に山道も大きな水たまりができ始め、足元を注意しながら歩く。時折こぶしほどの○○（ツチガエル？）ガエルが出てくるのでびっくり。山道に小さな川もでき始めた。身体も少し濡れてきた。お腹もすき始めた。

そろそろ東屋もある日の出山に着かないかな…と思いながら歩く。山頂が見えてきた。最後滑らないよう気を付けながら石段を登り、13:00 日の出山山頂へ。

山頂には、山つつじやシャクナゲが美しく咲き、この雨にも関わらず 3，4 人の若い山好きが登っていた。荷物を下ろしてお昼ご飯。雨もやみ始め雲で隠れていた景色が、あれよあれよという間に雲が動き、周りの山々の姿が見えてきた。何とも言えない美しい景色。雨に打たれながら歩いた数時間を忘れさせてくれた。

さあ、みんなが待つ御岳山へ。雨もやみ薄日が差す中、なだらかな道を歩く。向こう

から見覚えのある顔が。Mさんが、到着が遅い私たちを心配し迎えに来てくれた。
15:00 今夜宿泊する御岳山荘に到着。ちょっと休憩して日帰りのＴさんは、身支度を整えケーブルカー乗り場へ。
御岳山荘では、ゆっくりとお風呂で疲れをとり、数々のご馳走を楽しみお酒をいただき、話に花をさかせ、広くてきれいな部屋でのんびり、すっかり旅行気分を味わう。

2日目。スロー組と一緒に山香荘に泊まっていたＹさんの提案で、日の出を見るため4時に宿を出て、希望者6 人で御岳神社へ。昨日とは違い今日は雨の心配はなし。鳥の鳴き声を聞きながらオレンジに光る日の出を見る。
帰りは一般組5名で出発．当初日向和田駅に向かう予定だったが、宿泊所の朝食が8:00 と遅いため、変更。ロックガーデンに行くことにする。
9:00 御岳山荘前で、スロー組と一緒に記念撮影。その後出発。集落を抜け、長尾平横の長い急坂を足もとに気を付けながらひたすら降りる。
10:20 大きな岩を横に七代の滝が現れちょっと一息。次は鉄階段の急坂を登り、天狗の鼻の形をした天狗岩を通る。周りの岩や木々には美しく苔がむし、小川のせせらぎに癒される。
11:10 昨日の雨で水量も多く力強い綾瀬の滝はマイナスイオン満開。しばらく急坂を登り、その後は平らな道にかわり、長尾平へ戻ってきた。昼食をとった後ケーブルカーで早めに下山。
14:04 御岳駅発の電車で帰路につく。
登り始めからの雨山行。雨装具の再点検や、雨に打たれながら歩く際の体力の消耗や気力の消耗は、とてもいい経験となりました。
また、山行でありながら素敵な宿坊での宿泊は、山小屋とは違う旅行気分も味わえて素敵な時間を過ごすことができました。

5/22～24 韓国雪岳山報告

船橋勤労者山の会　古川孝至

メンバー：末吉(L)、古川(記録)、T ロ、Y 田

【スケジュール概要】

5/22 成田空港→仁川国際空港→高速ﾊﾞｽﾀｰﾐﾅﾙ→東草→ケンジントンホテル ソラク

5/23 登山日(ホテル→新興寺→飛仙台→馬等嶺→ムノミ峠→喜雲閣待避所→大青峰→喜雲閣待避所千→陽瀑待避所→飛仙台→新興寺)

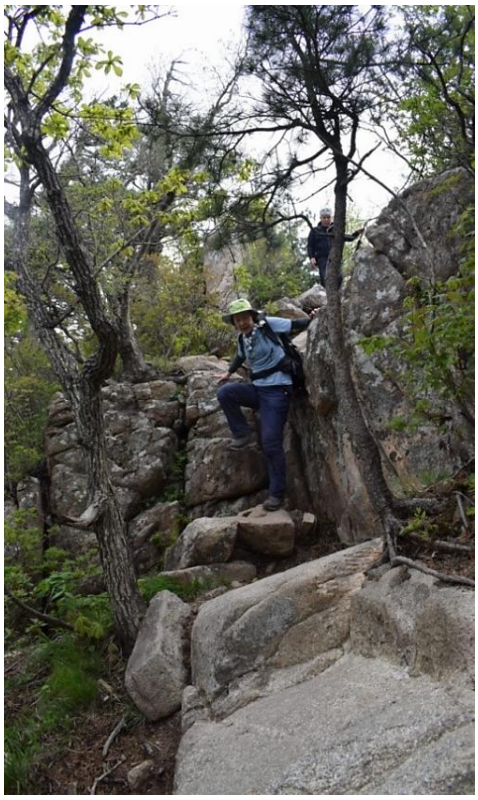
5/24 ケンジントンホテル ソラク→東草観光→高速バスターミナル→仁川国際空港

【事前予約】

ホテル：ケンジントンホテル ソラク。末吉さんが HIS 窓口で予約。1 室 2 泊 18,000 円。

搭乗券：往路はエアプサン(1 人 18,360 円) 、復路はエアソウル(14,730 円)。古川が各航空会社の HP から予約。往復で 33,090 円。

高速バス：Kobus の HP で古川が予約。高速バスターミナルから東草行きは 30 分間隔で出ており、その時間によってバスのグレードが異なる。
往路はエクセレントを予約。片道 2,300 円。
予約サイトは日本語 ver. もあり。ホームチケットは事前に発券できるが、パソコンサイトからしかできない。また、日本語 ver. のサイトから発券すると行き先や時間が空欄のチケットになるため、韓国語 ver. のサイトから発券する必要がある。



【記録】

＜1＞ 5/22(木)

7:10 船橋発、
7:58 成田空港着。千葉銀行で両替えを済ませる。レートは韓国ウォン 0.11 円。南ウイング 4 階 B カウンター前で待ち合わせ。9 時に 3 人集合。末吉さんは電車遅延で 9:20 着。B カウンターエアプサン仁川行きで受付。釜山行きと仁川行きの受付は異なる要注意。
11:10 成田空港発。
13:30 仁川国際空港着。予定よりも 25 分早い到着。仁川第一ターミナルまでは電車で移動して入国手続。
14:33 空港鉄道に乗車。
15:10 金浦空港着。地下鉄 9 号線に乗り換え。Express に乗車。
15:50 高速ターミナル駅着。各駅停車だと 50 分、Express だと 31 分で値段は変わらない。
16:02 高速バスターミナル着。バスターミナル内には飲食店やコンビニあり。コンビニでキンパとサラダチキンを購入。キンパはごま油が効いていて少し重い。
16:30 プラットホーム 19、束草行きに乗車。チケットの QR コードをバスの入り口にかざす。バスのグレードはエクセレント。1 人分の席は広く、レッグレストとフットレストが付いている。USB タイプ A 用のコネクタもありスマホの充電ができる。高速道路に入るまで渋滞。
18:10 サービスエリアでトイレ休憩。
19:00 襄陽着。間違えて降車するが T ロさんが気づきバスに戻る。
19:20 束草着。コンビニで翌日の食料と水を購入。
20:10 飲食店に入る。辛いものが苦手なため店員に辛くないものを聞くが首を傾げて軽く笑われる。辛くなさそうな揚げ餃子と冷麺を注文。揚げ餃子は肉汁が滴り美味しい。冷麺はキャベツとうずらの卵が載っており、汁は真っ赤。そして、辛い辛い。一口で諦める。末吉さんに食べて頂き、代わりにタッカンジョンを頂く。店内の壁には「NO SPICY, NO LIFE」の文字。辛いのが苦手な人が入ったらいけない店だった。炭水化物不足のためコンビニでカステラを購入。
20:50 タクシーに乗車。
21:13 ケンジントンホテル ソラク着。ロビーにはピアノやシャンデリアがあり、明らかに高級ホテル。日本でいうところの上高地の帝国ホテルのようなところだとか。

翌日は、末吉さん以外は３時起きの３時半出発に決め、末吉さんはゆっくり出発予定。
22:10 就寝。男性部屋はダブルベッドが１つしかなく、末吉さんにベッドを譲ってもらった。お陰様でしっかり眠れた。末吉さんは寝袋で就寝。

＜2＞ 5/23(金)

3:00 起床。**3:30** ホテル発。
3:37 新興寺(シヌンソ)着。登山客が数人。平坦な登山道が続く。日本でいうところの上高地から徳沢のような道。
4:40 飛仙台(ピソンデ，비선대)着。二手に分かれるところを右側(馬等嶺方面)に進む。ここから急登が始まる。林道の中で無風だが、気温は動いていないと寒く感じる程度。

6:50 馬等嶺(マドゥンニョン，마등령)着。休憩中に韓国のおじさんにお菓子やアミノバイタルを頂く。馬等嶺から先が恐竜稜線（コンニョンヌンソン）となり、稜線歩きとなる。まだ森林限界ではないが、風が出てきて少し冷える。登山道は稜線の東側にあり、しっかりした道で歩きやすい。数箇所、逆層の岩場があり滑りやすいところがあるが、両側に手すりがついており日本の登山道よりも整備されている。登山道の西側は巨大な岩壁となっており迫力がある。
8:00 1275 峰(イリチロボン)着。休憩中にＹ田さんが韓国のおじさんにりんごとお菓子を頂く。シマリスが２匹おり人間慣れしている。その後も同じような道が続き、快適な歩きとなる。
9:18 神仙台(シソンデ）展望台着。日本語が話せるおじさんに遭遇。出張で 15 回日本に来たことがあるそう。ここの展望台が雪岳山で一番眺望がいいそうで、写真撮影会を行う。
9:50 ムノミ峠(ムノミコゲ，무너미고개)着。
9:55 喜雲閣待避所(ヒウンガク・テピソ，희운각 대피소）着。Ｙ田さんは膝の痛みがあり頂上までは行かないことに。女性陣はルートの情報収集ができなかったとのことで１人での行動は危険。山小屋で待機となる。Ｔ口さんと頂上を目指す。喜雲閣待避所からは階段が多いが、手すりが付いており歩きやすい。
11:07 小青峰(ソチョンボン，소청봉)着。その後も階段が何箇所がでてくる。

11:42 大青峰(チョテンボン, 대청봉)山頂着。登山口から8時間。ペース配分をしたわりに早い到着となった。山頂からは大自然のパノラマ。風はやや強い。
13 :10 小屋に戻りY田さんと合流。小屋で韓国のおじさんにラーメンを作ってもらったとのこと。Y田さんは韓国のおじさんに好かれている。この時点で末吉さんは小屋まで3kmあるため、先に下山を開始する。下山は仏洞渓谷(チョンブルドン・ケゴク,천불동계곡)から。歩きやすい林道。途中から渓谷内に入り整備された道となる。
14:28 天堂瀑布(チョンダン・ポクポ)着。直瀑で釜がエメラルドグリーン。優美である。
14:34 陽瀑待避所(ヤンポク・テピソ,양폭 대피소)着。後ろに聳える岩壁は迫力がある。
15:50 飛仙台着。ゲートが閉まっていたが内側から自動で扉が開く。
16:30 新興寺着。下山までに13時間弱要した。
17:30 登山口近くのお店でクッパを食べた。お店は18時閉店。18時過ぎに末吉さんと合流。
19:20 ホテルに戻る。受付で翌朝のタクシーを予約。ホテルのロビーが豪華なためここで飲むことに。末吉さんとY田さんと3人で、ビールで乾杯。後味はクセがあるが、まろやかで美味しいビールであった。22:00 就寝。

＜3＞ 5/24(土)

5:30 起床。気持ちよく寝れた。クローゼットを開けると布団があることに気づく。末吉さんは寝袋で寝ずに済んだのに。6:30 予約したはずのタクシーと女性陣2名が現れない。受付に確認するとタクシーの予約はされておらず、翌朝6:30に予約をしにくるという勘違いが発生していた。そうこうしていると女性陣がロビーに現れる。時間を忘れ優雅にお茶をしていたとのこと(笑)。
6:45 ホテル発。
7:05 アバイ村着。渡し船（ケッペ）に乗り対岸にいく。船はワイヤーを人力で引っ張り動く。対岸に行くがお店は1件も開店しておらず、直ぐに戻る。開店中のお店に入り朝食を摂る。オジオスインデとアバイスンデの入ったクッパとチヂミを食べた。付け合わせのキムチは何種類もあり美味しかった。
10: 00 東草高速バスターミナル発。
11:24 SAでトイレ休憩。
12:40 ソウルの高速ターミナルに到着。
13:05 地下鉄9号線の高速ターミナル駅発。
14:30 仁川国際空港ターミナル1駅着。
14:55 仁川国際空港ターミナル1の3階Dカウンターで受付。自動チェックイン機では予約できず有人カウンターにてチェックイン。座席をここで決める。お土産を購入。
15:40 保安検査。電車に乗りターミナル1に移動。
17:05 仁川国際空港発。
19:20 成田空港着。
21:00 船橋着。

かがりび山の会 30 周年記念登山『佐渡島』

企画担当者

かがりび山の会は、2025 年 7 月 7 日に創立 30 周年を迎えます。これを祝し、様々な記念イベントが計画され、その幕開けとして、佐渡の『**尻立山・金北山縦走**』を 18 名で楽しみました。

2024 年夏頃より、観光を含めた計画を進め、冬には宿泊施設の予約も無事完了。順調に準備が整っていく中、2025 年 2 月にタクシーの手配を試みたところ、予約がすでに埋まっており、計画を急遽変更せざるを得ない事態となりましたが、無事に記念登山を成功させることができました。

＜1＞ 2025 年 5 月 23 日（金）

8:45 新潟港佐渡汽船ターミナル集合→9:25 新潟港⇒(フェリー)⇒11:55 両津港 12:05 ⇒(ドンデンライナーバス)⇒12:45 ドンデン高原ロッジ 13:25→13:40 尻立山 13:55→14:10 椿越(ドンデン池散策)14:25→14:40 ドンデン入口(林道)→14:50 金北山縦走路入口→15:20 ドンデン高原ロッジ

【山行報告】 伊藤悦子

「残雪と新緑と花々のコラボレーションが素晴らしい…」と前評判の高い 5 月の佐渡が 30 周年記念登山となりました。18 名の会員が参加し大盛況で、2 班に分かれて行動しました。翌日の金北山縦走ロングコースを前に、今日はドンデン高原を巡るハイキングコースで足慣らし。天気予報通りのハイキング日和で、期待に心が躍りました。今晩の宿ドンデン高原ロッジからスタート。すぐに大振りのカタクリ、オオイワカガミ、ヒトリシズカ、エンレイソウなどが登山道の両側に群落でどんどん現われました。花々に目を奪われているうちに 20 分程で尻立山山頂に到着。山頂は 360 度の大展望で金北山への稜線も一望できました。眼下には赤い屋根の避難小屋とドンデン池が新緑に映えて絵のような景色が広がっていました。ドンデン池へと続く稜線は大きく開けており、両津湾も望めてゆったりした気分で歩けました。今回は期待していなかった水芭蕉の群生もドンデン池の手前にあり、何だか得したような気分でした。アマナ、エチゴキジムシロ、キクザイチゲ等々多くの種類の花々との出会いがありました。なかでも圧巻だったのがシラネアオイでした。私の印象では、気品ある薄紫のシラネアオイはロープに囲われていたり、一株しか見られなかったりするような高嶺の花でした。それが終始登山道沿いに見られて夢のようでした。時間がたっぷりあったので花の写真撮影もバッチリ！会の皆さんと素敵な花時間を共有する事が出来ました。山の頂きを共に目指すのは山の会の醍醐味ですが、こんな山行も素敵ですね。

＜2＞ 5 月 24 日（土）

ドンデン高原ロッジ 5:15→5:50 アオネバ十字路 6:00→6:40 マトネ 6:50→8:10 真砂の峰 8:20→9:20 天狗の休場 9:30→11:30 金北山 11:55→12:30 マツムシ平→13:20 白雲台 16:30⇒(金北ライナーバス)⇒17:10 両津港⇒(レンタカー)⇒こがね荘(泊)

【山行報告】　脇山江利奈

雨の予報が出ていたため、予定より 45 分早く出発。登山口より樹林帯に入り、生き生きとした緑と昨日見た様々な花々が出迎えてくれた。金北山の高山植物はどれも大きく立派で、動物による食害が少ないことや積雪による雪布団効果がその要因と実感できた。アオネバ十字路を通過し、急登を登ってマトネで休憩。両津港、加茂湖、外海府を両側に望む稜線歩きは爽快で、何とも得した気分にさせてくれる。いくつかのザレ場と樹林帯を抜け、あやめ池を過ぎ、最後の急登に立ちはだかる雪の壁を慎重に登る。垂れ下がった木々にザックが引っかかりながらもなんとか突破。さらに進むと山頂直前には第二の難所・雪のスロープがあり、滑らないように一人ずつ恐る恐る進んだ。雪の上を歩くのは、スリルがあり実に楽しい。山頂目前で 2 班が道を誤り、合流まで冷たい突風の中、1 班をしばらく待たせてしまったが、全員無事に登頂。笑顔で記念撮影、達成感が込み上げる。マツムシ平を通り下山。予定より 3 時間ほど早く白雲台に到着。待合室では、出会った約 30 種類近くの高山植物を写真や図鑑で振り返りおおいに盛り上がった。最後まで雨に降られることなく、かがりび山の会 30 周年記念にふさわしい素晴らしい登山となった。

金北山をバックにドンデン高原ロッジ前

金北山山頂直前の残雪の急登前

金北山山頂

こがね荘での夕食後記念撮影
本日誕生日の主役がいます

＜3＞ 5 月 25 日（日）観光

たらい舟チームと金山チームに分かれて佐渡の観光を楽しみました。
偶然にもトキの森公園で合流し、両津港へ
12:45 両津港⇒（フェリー）⇒15:15 新潟港佐渡汽船ターミナル解散

【たらい舟チームレポート】　廣田聡子

先に出発する金山チームを見送り、我がたらい舟チームは 7:40 小雨の中を出発する。海岸沿いを移動する途中に佐渡のモアイ像として有名（？）な人面岩を発見！道路の反対側ではカンゾウが群生していた。海岸への階段を降り、海の透明度の高さに感動する。

たらい舟の「はんぎり」さんに到着したのは 9 時の営業時間より少し早かったが、午後から天候が悪化するとのことで、すでに受付が始まっていた。湾から少し外海に出る 25 分のコースを選択して大正解。予想以上に揺れるがそれも楽しい。海面とほぼ同じ目線で眺める外海は広く、風が気持ち良く特別な開放感を味わった。台湾などの外国のお客様が大型バスで訪れていた。

たらい舟の近くの宿根木は、昔の町並みが残る懐かしい風景が続く。空き家が多いが実際に住んでいる方もおられるようで静かに散策する。

少し時間があったので、当初の予定になかったトキの森公園へ急ぐ。なんと入り口で金山チームと遭遇。タイミングぴったりでびっくり。

保護センターでトキの親子をたっぷり鑑賞、ヒナは愛らしく大人のトキはまあまあ怖い顔だった。

12 時に全員でレンタカーを返却し両津港に向かう。

半日ながらも盛りだくさんの楽しい観光となった。

ゆ～らゆら～、たらい舟は楽しい

宿根木の町散策

【金山チームレポート】　山本久美子

昨年に世界文化遺産登録となり、佐渡島で一番有名で人気の観光地の金山を訪れました。Z 字型に似た佐渡島、その中央辺りに山頂がＶ字型に凹む特異な山容の道遊山があり、その山の下が金山観光地でした。入口から暗い階段を下った宗太夫坑（江戸時代）では、人形を用いた当時の採掘作業の再現が見られ、暗がりで動き話す人形達はリアルで臨場感がありました。徳川幕府の財政を担った蟻の巣のような採掘現場は

過酷な労働を連想させました。道遊坑(明治時代)では、トロッコ跡や機械掘り設備など採掘の近代化が垣間見えました。道遊の割戸は道遊山のてっぺんから金脈を掘り続け、山が割れたと知り、人間の地道な作業の凄さに恐ろしい驚きでした。純度の高い、高品質の金を長年に渡り産出した功績が世界に認定されたのだと、現地へ行き知りました。金塊は昔も現代の人も惑わす輝きで、展示品も豪華で華やいでいました。資料館にある金塊は 12.5 kg、小さな穴から取り出そうとチャレンジしたり、お土産コーナーも金色パッケージが多く豪華絢爛、見ているだけで楽しい気分となりました。日本世界遺産は 26 箇所、最新登録の佐渡島金山を「かがりび山の会 30 周年記念」で仲間と一緒に観光して楽しい思い出となりました。雨天気、大野亀トビシマカンゾウから行く先を変更して「トキの森公園」へ。過去に絶滅したトキを中国から譲渡され繁殖に成功したそうです。繊細な鳥らしく、大切に飼育されているゲージ内の巣には小さな雛も見えました。綺麗なトキ色は見えませんでしたが、佐渡島固有の野生のトキを見られたのは佐渡島へ来た甲斐がありました。

道遊の割戸

この金塊が目に入らぬか？！～憧れの金塊？～

金塊 12.5kg 取り出せるのかな？
持ち上げることさえできず↘

トキの親子

茶臼岳と三斗小屋温泉：大黒屋

茂原道標山の会　繁田京子

＜日にち＞　令和７年５月 24 日（土）～25 日（日）　　＜参加者＞　８名

＜コースタイム＞

① 5/24　土気６：00 発⇒千葉東金有料中野 IC～京葉外環～東北道佐野 SA 休憩～那須 IC9：10～10：00 沼ツ原駐車場 10：30…右ルート沼原分岐…11：00 日の出平登山口…日の出平 13：45（ランチ）…茶臼岳 15：35…峰の茶屋跡避難小屋 16：10…18：00 三斗小屋温泉（大黒屋）着

② 8/25　大黒屋８：20 発…9：00 沼原分岐…9：40 姥が平下…10：50 日の出登山口…11：00 沼原分岐…11：30 湿原散策…12：45 沼平駐車場～13：30 牧場（ランチ）…14：50～15：30 那須 IC～往路を戻る 18：35 土気着

＜山行記録＞

① 5/24（土）　曇り

ランプの宿と温泉を目指して出発、天気予報のせいか道路の渋滞にあわず沼ツ原駐車場も空いていました。

雑木林の中をさわやかに歩き進める。時折笛を吹き、熊よけをアピール。急登ではさすがに汗ばみ半袖にアームカバースタイルになる。

日の出平の手前から５月も下旬になったのにサクラ！ミネ桜が咲いていて、年数を経ている大木もあり驚かされた。自然交配のせいか濃い色、淡い色とで、やや小花ながら咲き誇り、断続的に茶臼岳の麓の牛首まで桜の木は続き、寒風に耐え今を迎えている。

ミネザクラ

茶臼岳をバックに

牛首からの風景は一変し荒涼たる岩山が出現し、大小の岩を交わしながら茶臼岳の頂上へ。

雨は３粒程！

強風を覚悟したものの風はなく曇り空。程々の見晴らしでした。

遅れ気味でしたが、まずは宿を目指して峰の茶屋跡へ。剣が峰の麓は岩石、列石が川の流れのように異空間の世界を展開していました。

沼原分岐を通過し、三斗小屋温泉大黒屋に無事着きました。

三斗小屋温泉（大黒屋）

峰の茶屋跡と那須岳遠望（茶臼岳下山途中より）

② 5/25（日）

大黒屋の空地で準備体操をし、スタート。本日は沼ツ原駐車場までの短めですが気を抜かずに下山。

標高のわりには谷に残雪が残り、沢沿いでは、カメの木の満開を見て、ミツバツツジ、シャクナゲ、イワカガミも咲き始め、下山に彩りを添えてくれました。

日の出平登山口から昨日とは反対の右ルートを行き、ゆとり気味に湿原散策をし、駐車場に無事下山しました。

予定の昼食は、牧場で、焼肉ランチなどで心まで満たし帰途につきました。

＜感想＞

遅いスタートにも関わらず、雨にも遭わず、強風で有名な所なので覚悟して行ったのに拍子抜け状態でした。こんな事もあるのですね。

無事がなによりの登山でした。

＜閑話休題＞

詐欺電話実体験談

５月の平日の昼でした。自宅の電話が鳴りました。

私：　もしもし…

相手：おれ…

私：　もしもし…

相手：俺だよ！　おれ…

私：　もしもし…　どちらさんでしょうか？　どちらにお架けですか？

相手：俺だよ！　実家に架けてんだけどなぁ…。分からないかなぁ…。　俺だよ！

私：　もしもし…　どちらさんでしょうか？　どちらにお架けしてますか？

相手：アツシだよ！　分かんないかなぁ…。

私：　**アツシという者はいません！**

相手：ガチャン！（突然、無言で切れました！）

「ヤスヒコさんのお宅でしょうか？」という電話も多いですね。全て「違います！」と返答すると、即、ガチャンが殆どですね。皆さん、私に用事がある場合は、間違わないでくださいネ！

全て相手の話していることは聞こえていましたが、敢えて聞こえていないフリをして、何度も同じことを聞き返しました。遂に、相手もしびれを切らし、名前を言いました。そこで『そんな名前の人はいません…！』という一言で、相手は諦めました。

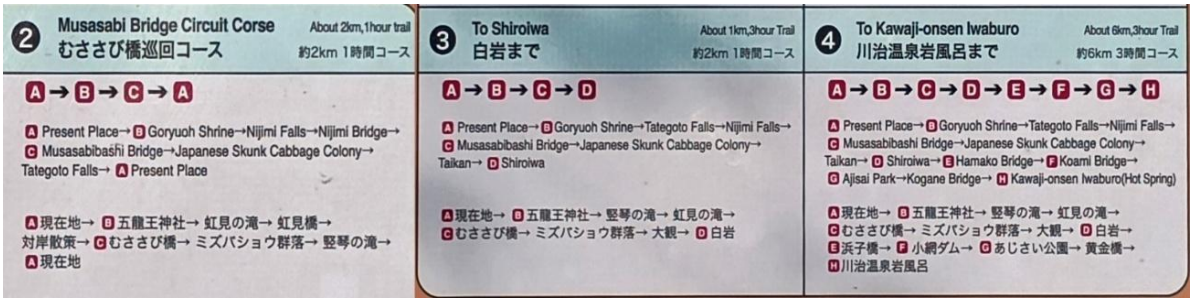
日中に架かってくる電話は、『売り込み』が大半で、必ず、自分の会社名と名前を言ってから、一方的に用件を言い続けてきますが、この時は違っていました。（編集子）

龍王峡自然研究路 2025.06.07（土）

東葛山の会　林 孝和

鬼怒川温泉に行く機会があったので、龍王峡自然研究路を歩いてみました。龍王峡は、日光国立公園の景勝地。長い年月の浸食で造られた渓谷美は自然の芸術品。新緑から紅葉まで四季折々の景色を楽しむことができます。

龍王峡自然研究路のスタート地点は龍王峡市営駐車場、車だと新鎌ヶ谷からだと３時間弱です。ここには野岩鉄道会津鬼怒川線の龍王峡駅もあり、電車だと新鎌ヶ谷駅からだと車と同じく３時間程度です。駐車場からは目の前に昨年の年末山行で登った鶏頂山がそびえます。駐車場には電気自動車の充電設備も設置され、食事処もあります。龍王峡駅からの龍王峡自然研究路のハイキングコースには主に下記の３コースがあります。



② Musasabi Bridge Circuit Corse むささび橋巡回コース — About 2km,1hour trail 約2km 1時間コース

A→B→C→A

A Present Place→ B Goryuoh Shrine→Nijimi Falls→Nijimi Bridge→ C Musasabibashi Bridge→Japanese Skunk Cabbage Colony→ Tategoto Falls→ A Present Place

A現在地→ B五龍王神社→ 虹見の滝→ 虹見橋→ 対岸散策→ Cむささび橋→ ミズバショウ群落→ 竪琴の滝→ A現在地

③ To Shiroiwa 白岩まで — About 1km,3hour Trail 約2km 1時間コース

A→B→C→D

A Present Place→ B Goryuoh Shrine→Tategoto Falls→Nijimi Falls→ C Musasabibashi Bridge→Japanese Skunk Cabbage Colony→ Taikan→ D Shiroiwa

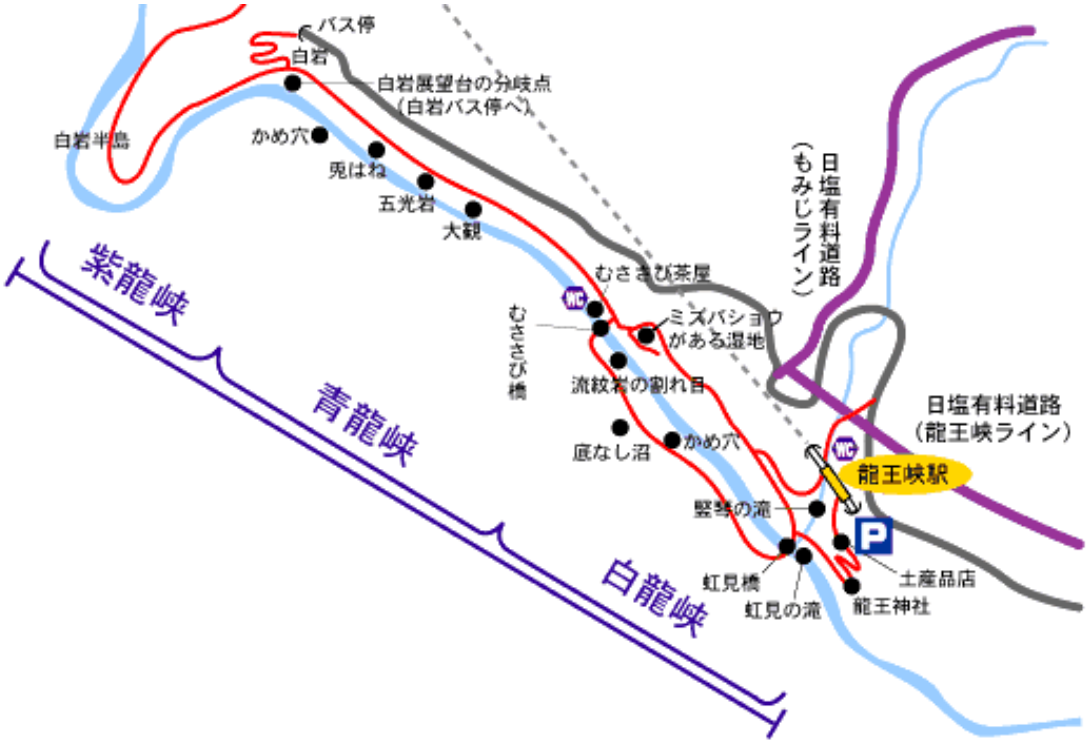
A現在地→ B五龍王神社→ 竪琴の滝→ 虹見の滝→ Cむささび橋→ ミズバショウ群落→ 大観→ D白岩

④ To Kawaji-onsen Iwaburo 川治温泉岩風呂まで — About 6km,3hour Trail 約6km 3時間コース

A→B→C→D→E→F→G→H

A Present Place→ B Goryuoh Shrine→Tategoto Falls→Nijimi Falls→ C Musasabibashi Bridge→Japanese Skunk Cabbage Colony→ Taikan→ D Shiroiwa→ E Hamako Bridge→ F Koami Bridge→ G Ajisai Park→Kogane Bridge→ H Kawaji-onsen Iwaburo(Hot Spring)

A現在地→ B五龍王神社→ 竪琴の滝→ 虹見の滝→ Cむささび橋→ ミズバショウ群落→ 大観→ D白岩→ E浜子橋→ F小網ダム→ Gあじさい公園→ 黄金橋→ H川治温泉岩風呂



②はむささび橋巡回コース、③は白岩まで上り川治温泉駅から電車で戻るコース、④は川治温泉和風呂まで上り川治湯本駅から電車で戻るコースです。今回は時間の都合から②のむささび橋巡回コースを歩きました。

駐車場から鳥居をくぐって石の階段を5分程下って渓谷へ降りて行くと五龍王神社と虹見の滝があります。ここは鬼怒川・川治温泉の守り神とされる龍王を祀った神社です。虹見の滝は落差20mの美しい滝です。勢いよく流れ落ちる姿をみると、虹ができるというのもうなずけます。

虹見橋を対岸へ渡ると鹿がいました。

対岸には湿地帯があり、モリアオガエルの池にはオタマジャクシがたくさん群れていました。

対岸を約700m上流へ上がった所にむささび橋があり、そこからは渓谷の雄大な景色が望めます。

橋を渡るとむささび茶屋がありますが、閉まっていました。地図によるとこの辺りにミズバショウ群落の湿地があるということでしたが、鹿に食べられたのか？見当たりません。代わりにその先にコアジサイが見られました。

ルートの終わりには清らかな水が幾筋にも分かれて流れる美しい竪琴の滝がありました。

竜王峡は、むささび橋から下流が白っぽい色をした流紋岩、むささび橋から兎はねの間が青い色をした緑色凝灰岩、兎はねから上流が紫色をした安山岩でできています。そこで岩の種類による色の違いから、最初の地図に示すように下流から各々白竜峡、青竜峡、紫竜峡と呼ばれています。

龍王峡自然研究路についてご興味のある方は以下のサイトで動画も見ることができます。
https://www.youtube.com/watch?v=taRJQnlNejE

＜閑話休題＞　ヘボン式ローマ字表記…？

皆さんがお持ちの『労山会員証』の有効期限が、『2025 年 12 月 31 日』ということをご存じですか？　お手元の会員証を確認してみてください。

この有効期限前の 11 月頃に『会員証』が全会員に発行交付されます。その発行に向けて、『会員情報一覧』が全国連盟より野田理事長経由で各会に配信されています。

各会員の情報を確認し、訂正や追記、削除などを行い、各会は全国連盟に期限（8 月 4 日）までに、必ず『会員情報一覧』を送付してください。特に、会員証に表示される**『氏名』の『漢字表記』と『ローマ字表記』を確認**してください。

この『ローマ字表記方法』は、『ヘボン式』に統一して下さい。具体的には、パスポートをお持ちの方は、それを確認して下さい。

ローマ字には、『訓令式』と『ヘボン式』があり、最初に小学校で教わるのは『訓令式』だと思います。（厳密には、他に『日本式』もあります）。現在は、英語のつづりに近いローマ字表記の『ヘボン式（子音を英語風に、母音をイタリア語風に発音する）』が多用されています。

およそ 70 年ぶりにローマ字の表記の見直しを検討している文化庁の審議会はこれまでの「訓令式」ではなく、多くの人が慣れ親しんでいる「ヘボン式」に基づく表記を採用するなどとする答申案をまとめました。＜2025 年 6 月 20 日（金）NHK ニュースより＞

＜例＞ 前：**ヘボン式**、（後：訓令式）

し→**SHI**（SI）、　ち→**CHI**（TI）、　つ→**TSU**（TU）、　ふ→**FU**（HU）

じ、ぢ→**JI**（ZI）、づ→**ZU**（DU）　など

長音の場合（東葛山の会の実例）おおくさ→**O**KUSA、かとう→KAT**O**、こうの→K**O**NO、ようこ→Y**O**KO、けんいちろう→KENICHIR**O**　など　（編集子）

2025 登山講習の報告

千葉県連教育遭難対策委員会

6 月 1 日、栃木県『古賀志山』の『中尾根コース』にて登山講習を行いました。
参加者は、下記 6 会で計 14 名でした（教遭委員 4 名を含む)。

東葛山の会、岳人あびこ、かがりび山の会、千葉こまくさハイキングクラブ、
船橋勤労者山の会、ちば山の会

夏の本格登山に向け岩場の歩き方を訓練しました。
岩場歩きの基本である、次のテーマを指導しました。
『三点支持』、『体を岩から離し、手がかりと足場を見通す』、『クサリ場（鎖場）の登り方』、下りでは傾斜により前向き、後ろ向き、横向きを使い分ける。

中尾根コースは、最初の 3 番岩と最後の中尾根コース最高地点には垂直の岩場があり、途中は岩場のアップダウンが繰り返しあり、低山ですがよい訓練コースです。
登山口までの道を間違え危険個所に遭遇し、ロープを張ったトラバースを実地で行うというアクシデントもありました。

下山後は、広場でツエルト設営の訓練を行いました。
日頃の山行で携帯している装備だけで、ツエルトを設営しました。
『ツエルトを被るだけ』、『ツエルトに付随している張り綱を立木に結び設営』、『張り綱+ストックで設営』、『ロープ+カラビナ+スリングを使った設営』など、様々な形態があり、ロープワークを含め今後の参考になったようです。
実施後のアンケートでは、初心者から中堅までの意見や、県連活動全般の要望が寄せられました。

◆自分が参加している山行であまり経験のない本格的岩場を経験出来て、勉強になりました。
◆ツエルト設営では、様々な設営スタイルがあり、いろいろ実際に見ることができ勉強になりました。今後はツエルトをいつも携帯しようと思います。
◆山行リーダーとして、岩場の歩き方の指示を的確にできるよう勉強したいと思い、今回参加しました。
◆初心者なので、歩き方、トレッキングポールの使い方等、基本的な登山講習もあれば良いなと思いました。
◆単独の会ではなかなか取り組み出来ないことを、県連で取り組んで講習して頂けることは、県連加盟のメリットを共有できる機会として大切にしたいと思いました。
◆もっと他の会の方と交流する機会があると良いなと思います。運営の仕方など他の会のやり方が聞けるといいです。　など

古賀志山

mont·bell

千葉県勤労者山岳連盟

『会報担当者オンライン交流集会』開催案内

機関紙委員会　安彦秀夫（東葛山の会）

次の内容で開催をします。多くの皆さんの参加をお待ちしています。

日時：2025 年 7 月 24 日（木）午後 7 時～9 時

方法：オンライン（Zoom）
対象者：

1）調査票記載者（4～5 月に各会から会報担当者の情報が届いています）
　☞ リストに書ききれなかった会では、その方々へ URL の転送をお願いします。
2）各会代表者（メーリングリスト登録者）
3）県連理事会（メーリングリスト登録者）
4）県連役員会（メーリングリスト登録者）
5）各会ホームページ管理人→**申込み必要**
6）会報やホームページに関心のある人→**申込み必要**

＜申込方法＞
メールで安彦まで
mt25hm4abichan49@gmail.com
申込期限:7 月17日(木)

※7 月 22 日（火）に、ミーティング ID（URL）を配信します。

テーマ：

会報担当者が日頃悩んでいることや、考えていることなどを自由に語り合い、今後の会報に前向きに取り組んでいくきっかけを見出したい…という思いで企画しました。そのために、次のようなことについて自由に発言をしていただきたいと思います。

1）会報を**編集する際に抱えている問題点**、特にパソコンスキルなどでの問題点があるかと思いますが、他の会では、どのように対応（対処）していますか？
2）今後の会報発行について、**新たな取り組み**をしたいのですが、どのように具体化したらよいでしょうか？
3）会報編集スタッフ間での**役割分担**や**打ち合わせ**などを、他の会では、どのようにして行っていますか？
4）会員の間では、会報はどのように捉えられていますか？
5）会報担当者の**後継者不足**について、皆さんの会では、どうでしょうか？
6）**原稿がなかなか集まらない**のですが、妙案はありますでしょうか？
7）『ちばニュース』について思っていることがあるのだが…。
8）何でも結構です。会報やホームページ以外でも構いません。

今後の会報担当者交流の第一歩です。
気軽に集い、フランクに話し合いたいと思っています。多くの参加をお待ちしています。

2025 海外登山へのお誘い

韓国：紅葉ハイキング

道峰山（ドボンサン739m）・水落山（スラクサン637m）・仏岩山（プラムサン508m）

千葉県勤労者山岳連盟 海外委員会

お隣の韓国・ソウル近郊にある花崗岩の山々のハイキングを昨年に続き企画しました。
『**ソウル5大名山**』の3座を、ソウルの街並みを望みながら県連の仲間と一緒に楽しみましょう！

日 程：2025年10月17日（金）～21日（火） 4泊5日

旅行代金：約197,000円（参加人数確定後に、改めて旅行会社と調整します）

◆ 旅行代金に含まれるもの：

国際線航空運賃往復（エコノミークラス）、 ソウル仁川空港～ホテル往復送迎（大型バス）、
ソウル宿泊費（**ホテル4連泊**、ツイン、朝食付き）、 **食事（朝食4回、昼食1回、夕食4回）**、
日本語ガイド費用（通訳ガイド1名、ハイキングガイド2名）、 旅行会社手数料
諸費用（成田空港利用料、国際観光旅客税、出国・空港税、燃油サーチャージ）

◆ 旅行代金に含まれないもの：

夕食は韓国グルメ三昧！

食事代金（昼食3回）および食事の際の飲み物費用、
ハイキング時の交通費（ホテル⇔登山口・下山口/地下鉄・バスなどを利用）、
チップおよび個人的使用の費用、 航空機搭乗時の超過手荷物運搬料、
海外旅行保険料（任意保険）

参加者継続募集中

募集人数：20名（先着順） **既に申し込み済みの人の航空券は予約済みです。**

申込締切（二次集約：最終です！）：7月17日（木） **＜航空券をグループ枠で手配＞**

問合せ・申込先：海外委員会 安彦秀夫 mt25hm4abichan49@gmail.com **Tel:090-5827-0571**

専用『参加申込書』を、県連理事及び各会代表者経由で各会にメール配信しています。

必要事項を記入の上、パスポートコピーと一緒に、直接、安彦までメール送付してください。

日程：（『詳細日程（ホテル含む）』や『旅行代金』などは、参加者確定後、改めて旅行会社と相談・調整します）

日次	日付（曜日）	スケジュール（行動予定）＜ハイキングコース詳細等は、今後、旅行会社/現地ガイドと相談しながら決めます＞	宿泊地	食事 朝	食事 昼	食事 夕
1	10/17（金）	**集合：成田空港・第1ターミナル北ウイング 11:00（チェックイン後、各自昼食）** 成田空港14:00✈（大韓航空KE704）✈ソウル・仁川空港16:30 通関後、日本語通訳ガイドと合流し、専用車で市内のホテルへ。 ※通訳ガイドの案内で夕食のお店へ（徒歩など）	ソウル	―	―	○
2	10/18（土）	**水落山（637m）・仏岩山（508m）ハイキング** 歩行時間：約5時間（休憩含まず） ホテル…ホテル最寄り駅→登山口最寄り駅…水落山・仏岩山ハイキング …下山口最寄り駅→ホテル最寄り駅…ホテル （ホテルと登山口/下山口の移動は、地下鉄とバスを利用します） ※通訳ガイドの案内で夕食のお店へ（徒歩など）	ソウル	○ ホテル	×	○
3	10/19（日）	**道峰山（739m）ハイキング** 歩行時間：約4時間（休憩含まず） ホテル…ホテル最寄り駅→登山口最寄り駅…道峰山ハイキング… …下山口最寄り駅→ホテル最寄り駅…ホテル （ホテルと登山口/下山口の移動は、地下鉄とバスを利用します） ※通訳ガイドの案内で夕食のお店へ（徒歩など）	ソウル	○ ホテル	×	○
4	10/20（月）	**（ハイキング予備日）** 2日目と3日目に予定通りハイキングができた場合は、次の案を検討中です。 ①他の山のハイキング ②ソウル市内観光・ショッピング ※通訳ガイドの案内で夕食のお店へ（徒歩など）	ソウル	○ ホテル	×	○
5	10/21（月）	出発までフリー（各自で観光や買い物などをお楽しみください） ※通訳ガイドの案内で昼食のお店へ（徒歩など） 昼食後、ホテルに戻り、通訳ガイドと一緒に専用車で空港へ。 ソウル仁川空港17:25✈（大韓航空KE713）✈成田空港19:45 通関後、出口付近に集合し解散	―	○ ホテル	○	―

登る山の順序変更 ※詳細は今後調整

2025 オンライン講習会案内

今年 2025 年も、恒例の『オンライン講習会』を 4 回企画しています。
詳細が決まり次第、順次『2025 ちばニュース』などでお知らせします。

＜1＞ネパール：アマダブラム 6,856m遠征報告

（2024 年 10 月 22 日～11 月 16 日（26 日間）

終了

*講　師：　平野直子 氏（ちば山の会）
*日にち：　4 月 24 日（木）午後 7 時～8 時 30 分
（講演 60 分、質疑応答 30 分）
***参加者：24 名（講師含む）午後 8 時 45 分終了　　視聴多謝!!**

＜2＞ヘリ救助要請する場合の注意点

終了

*講　師：　横山一隆 氏（ちば山の会）
*日にち：　6 月 26 日（木）　午後 7 時～8 時 30 分
（講演 60 分、質疑応答 30 分）
*『救助要請から待機・救助まで』を、ヘリコプターで救助する側の立場から「登山者の行動・注意点」などについてアドバイスあり。
***参加者：25 名（+ビデオ参加：講師）午後 8 時 35 分終了　視聴多謝!!**

＜3＞登山計画届システム「コンパス」の紹介

予告

*講　師：　インフカム株式会社 代表取締役 今吏靖 氏
*日にち：9 月 25 日（木）午後 7 時～9 時
*コンパスと会山行管理の連携等の有用性を確認したい。
*「参加申込書」は、『2025 ちばニュース 9 月号』と一緒に配信予定

＜4＞クライミングの安全対策

*講　師：　石川昌氏（全国連 遭難対策部長、船橋勤労者山の会）
*日にち：　11 月 27 日（木）午後 7 時～9 時
*昨年 2024 年は、クライミング事故が 5 件発生しています。

既に 2 回を多くの参加者により実施しました。残り 2 回を予定しています。是非参加をお願いします。

第１８回ふれあいハイク　君津市『三舟山』参加者募集

千葉県連　理事会
千葉こまくさハイキングクラブ　五木田啓文

今回で 18 回目を迎えたふれあいハイク、障千連結成 50 周年の節目に、交流を再開することになりました。障害者の方にも自然の素晴らしさを体感して頂く企画として、今回は君津市で地元の方にも親しまれている里山「三舟山 138.7m」ハイキングを計画しております。

通常は周回登山（約 45 分:1.7 km）ですが、障害者と一緒の為、往復登山(約 2.8 km)とします。秋晴れの下、一緒にハイキングすることにより障害者の方との交流を深めたいと思います。

自然に親しむ権利は健常者だけにあるのではなく、障害者の方にもあることを、この交流を通じて確認できればと思っております。多くの方のご参加をお願いいたします。

記

『三舟山』については、『ちばニュース５月号』を参照してください。

1. **日時**　２０２５年**１０月２６日（日）**
2. 場所　千葉県君津市「三舟山（138.7m)」
3. 募集予定　*千葉労山 50 名程度
   *障害者 20～30 名程度（車椅子 4～5 台、視覚障害者、その他障害者ボランティア含む)
   （合計 80 名程度）
4. 交通　大型バス２台（内１台は車いす対応リフト付）
5. 参加費　5,000 円程度（概算、県連から費用補助検討中 1,000 円程度/1 人）
6. **集合　千葉駅東口から徒歩３分　旧 NTT 前 7:45**
   「JR 我孫子駅前→鎌ヶ谷市役所駐車場→旧 NTT 前」のバス検討中
   （現地：三舟の里案内所駐車場 9:30）
7. コース及び予定時刻
   千葉駅東口旧 NTT 前 8:00 発→松ヶ丘 IC→市原 SA（休憩 10 分）→
   君津 IC→三舟の里案内所駐車場 9:30 着（トイレ、サポート指導）
   10:00…(1:30)…三舟山 11:30（昼食・交流）/12:50…(1:30)…
   …三舟の里案内所駐車場 14:20/トイレ 14:50 発→君津 IC→松ヶ丘 IC
   →JR 千葉駅東口旧 NTT 前 16:00 着（解散）
8. 参加申込　五木田啓文（E-mail:gokigw2@yahoo.co.jp）
   *各会で取りまとめてお申し込みください（参加申込書参照）
9. **締切日**　２０２５年**９月１０日（水）**

全国連盟から下記の『案内』と『会員情報一覧表（エクセル）』が野田理事長経由にて各会代表者に配信されています。

会員証の更新案内

加盟団体（会・クラブ）　役員　各位　　2025 年 6 月 19 日

日本勤労者山岳連盟　事務局

前略　日頃の労山の活動ご協力いただき感謝申し上げます。

お手元にある会員証の有効期限は 2025 年 12 月となりますので、会員証の更新手続きをいたします。つきましては、この機会に労山にご報告いただいている情報と現状の相違を確かめたいと思っております。皆様のご協力、よろしくお願いいたします。

加盟団体（会・クラブ）へ労山登録済みの『会員情報一覧表』を、メール及び郵送にて送付します。

＜注＞ 一部の誤字・脱字などを編集しています。（編集子）

＜変更点＞

① 会員様のご要望により会員証の厚さを薄く（プリペイドガードぐらい）しました。そのため、都度印刷会社へ依頼することとなりました。経費圧縮のため、会員カードの発行は半年に一度まとめて発行します。但し、会員カードの発行を急ぐ方は、仮カード（白地の会員カード）を発行し後日、正式な会員証を送付します。
※6/15 以降新規会員登録分から新会員カード基準にて対応とします。

② 会員証表記は、日常でよく使う漢字（第 1・2 水準漢字）を使用します。旧漢字を希望する方は、お申し出ください。厚手のカードで対応いたします。

6 月
データ受取
（地方連盟通して
各団体へ）

⇒

8 月 4 日までに
労山へ報告
（メール又は郵送
にて）

⇒

11 月
会員証受取
（労山から各団体へ
会員証送付）

全団体のデータ情報受領後、会員カードの印刷を行います。

締切 8/4 厳を厳守願います。

旧カードは期限が過ぎましたら、各自処分願います。

〒162-0814　東京都新宿区新小川町 5 番 24 号　　ＴＥＬ　03-3260-6331

E-mail　koushin2025@jwaf.jp　（問合せ・データ送付先）

※なお、事務局業務多忙のため、問い合わせは、できるだけメールにてお願いします。
返信は数日かかるかもしれませんが、順次対応します。

次の事項を全国連盟事務局にメールで問合せをし再確認しましたのでお知らせします。

1）**在籍会員**には、従来通り５年ごとに会員証を発行する。一方、**新入会員**には、登録の都度に発行せず、半年に１度纏めて発行する。具体的な半年の期間（○月～△月）については、今後決めるそうです。

2）氏名のローマ字（ヘボン式）も併記する。この時に必要なことは、氏名の『読み仮名』又は『ローマ字表記欄』です。残念ながら、それらの確認要請が来ておりません。ローマ字表記の際に悩むようなことがある場合、備考欄にその旨を記入するか、直接事務局に問合せをお勧めします。（関連記事→p.22）

3）『会員情報一覧表』の記載事項を変更したり、追記する場合などは、赤字で記入する。（編集子）

県連活動予定表

7月		
日付	曜日	県連活動予定
1	火	
2	水	
3	木	
4	金	
5	土	
6	日	
7	月	小暑
8	火	全国海外委員会(ZOOM) 19:30
9	水	
10	木	**役員会（ZOOM）19:00-21:00（中止）**
11	金	
12	土	
13	日	**クライミング講習（入門編）③**
14	月	
15	火	
16	水	
17	木	**理事会（船橋市西部公民館）19:00**
18	金	
19	土	
20	日	
21	月	**海の日**
22	火	大暑
23	水	
24	木	**会報担当者交流集会/ZOOM 19:00**
25	金	
26	土	
27	日	
28	月	**教育遭難対策委員会（ZOOM）**
29	火	
30	水	
31	木	

8月		
日付	曜日	県連活動予定
1	金	
2	土	
3	日	
4	月	
5	火	
6	水	
7	木	立秋
8	金	
9	土	
10	日	
11	月	
12	火	全国海外委員会(ZOOM) 19:30
13	水	
14	木	**役員会（ZOOM）19:00-21:00**
15	金	
16	土	
17	日	
18	月	
19	火	
20	水	
21	木	**理事会（休会）**
22	金	
23	土	**クライミング講習（入門編）④**　処暑
24	日	
25	月	**教育遭難対策委員会（ZOOM）**
26	火	
27	水	
28	木	**海外委員会（休会）**
29	金	
30	土	
31	日	

事故発生時の連絡先

各委員会は、25日までに予定を連絡ください。

◉事故一報は事故発生後1ヶ月以内に！

◉全国連盟と県連教育遭難対策委員会の両方にメールまたはファクスで！

全国連盟事務局
メール：　jwaf@jwaf.jp
ファクス：　03-3235-4324

県連教育遭難対策委員会
メール：　itou2385@yahoo.co.jp（伊東）
メールのみとします

連盟費の振込先はこちら！

郵便振替口座　00160-3-481509　（ゆうちょ銀行　〇一九店　口座番号0481509）
千葉県勤労者山岳連盟

発行者：　千葉県勤労者山岳連盟
発行責任者：　安彦秀夫
住所：　〒261-0013　千葉市花見川区幕張本郷 1-29-18 レジデンス幕張台 101号室
電話：　043-306-1190　E-mail：　rousanchiba@grape.plala.or.jp
HP：　https://www.cwaf.jp　**事務所に常駐者はいません**